

令和5年度第2回大野城市上下水道事業運営審議会 会議録	
日 時	令和6年2月2日（金）13：15～14：00
開催場所	市役所3階 災害対策本部室
出席者	審議会委員：広城会長、河波副会長、小原委員、斧田委員、高原委員、田口委員、釘崎委員 以上7名 上下水道局：松竹上下水道局長、松岡企業総務課長、今田料金施設課長、川畑上下水道工務課長、他8名（係長、担当） 以上12名
欠席者	なし
傍聴者	なし
議 事	<ul style="list-style-type: none"> ・大野城市上下水道事業第4次中期経営計画（案）の主要施策について <ul style="list-style-type: none"> ・主要施策⑱ICTの活用によるサービスの向上 ・主要施策⑳窓口業務などの民間委託範囲拡大 ・大野城市上下水道ビジョン（一部改訂）・大野城市上下水道事業第4次中期経営計画の答申書（案）について
配布資料	<p>次第</p> <ul style="list-style-type: none"> 【資料①】 主要施策⑱ ICT活用によるサービスの向上 【資料②】 主要施策⑳ 窓口業務などの民間委託範囲拡大 【資料③】 大野城市上下水道ビジョン（一部改訂）・大野城市上下水道事業第4次中期経営計画（概要版） 【資料④】 大野城市上下水道ビジョン（一部改訂）・大野城市上下水道事業第4次中期経営計画（最終案）

議 事	<p>◇令和5年度第2回大野城市上下水道事業運営審議会</p> <p>1. 開会あいさつ</p> <p>【議事】</p> <p>2. 大野城市上下水道事業第4次中期経営計画（案）の主要施策について （資料①、②）</p> <p>「主要施策⑱ICTの活用によるサービスの向上」「主要施策⑳窓口業務などの民間委託範囲拡大」の順に説明。</p> <p>○質疑</p> <p>（委員）ICT等を活用したサービスの導入9件について、詳しく説明していただき、よく理解できた。今でも紙ベースで対応しているものが多いようだが、民間ではすでにICTの活用が進んでいる。大野城市でもICT活用を進めていき、処理に要する時間や間違いを減らすことができたらよいと思う。</p> <p>（委員）資料①、目標3について。井戸使用人数とあるが、人数によって料金が異なるのか。</p> <p>（市）下水道の使用水量について、井戸水を使用している場合は水量がわからないため、「大野城市下水道条例施行規程」の規定に基づき、世帯の人数に応じて水量を認定しています。なお、井戸水の場合と、水道水と井戸水を併用している場合では世帯人数あたりの認定水量が異なります。</p> <p>（委員）スマートメーターの導入について。以前は値段が高いため導入は検討していないとのことだったが、状況は変わっていないか。電気の検針では導入が進んでいるようだが。</p> <p>（市）スマートメーターの単価は現在も高く、通常のメーターと価格差がかなりあります。また、現時点では水道のスマートメーターの規格が統一されていないこともあり、もうしばらく様子を見たいと思っています。</p> <p>（委員）資料②、目標について。すでに高い収納率だが、コストに対して、効果は得られるのか。</p> <p>（市）滞納整理業務は現契約の委託業務に含まれていること、また、今後の新たな取組によって人員増とする予定はないため、現在よりコストが大きく増えることはないと考えています。</p>
-----	---

3. 大野城市上下水道ビジョン（一部改訂）・大野城市上下水道事業第4次中期経営計画の答申書（案）について

事務局より答申書（案）、答申の流れについて説明。

答申

4. その他

事務連絡について説明。

5. 閉 会

松竹上下水道局長より閉会のあいさつ。

以 上